

KJO 第10回 定期演奏会

かがわジュニア・ニューフィルハーモニック・オーケストラ



2011年8月28日(日)

午後2時開演 (午後1時30分開場)

アルファ あなぶきホール (香川県県民ホール)・大ホール

全席自由 一般/2,000円 学生/500円

- 主催** 香川県
- 後援** 香川県教育委員会
- 協力** 高松交響楽団、香川県吹奏楽連盟
- 事業実施者** アルファあなぶきホール(香川県県民ホール指定管理者穴吹エンタープライズ(株))

— 発売日 —
6月4日(土)

プレイガイド	アルファあなぶきホール	087-823-5023	香川県庁生協	087-832-3822
	ヤマハ高松店	087-822-3068	高松市役所生協	087-839-2043
	デュークショップイオン高松店	087-870-5880	ミヨシヤ楽器店(丸亀)	0877-25-1234
	高松天満屋ギフトサロン	087-812-7704	オオサカヤ観音寺本店	0875-25-2201

※営業時間・販売方法は各店舗によって異なります

お問い合わせ・ご郵送希望の方は

☎087-823-5023 アルファあなぶきホールまで

電話受付時間:午前9時~午後6時30分(発売初日のみ 午前11時~)

- 車いす席ご希望の方はアルファあなぶきホールまでお問い合わせ下さい。
- 2歳以下のお子様のご入場はご遠慮下さい。また、お子様を膝の上に抱いての鑑賞はできませんので、未就学児でも学生券が必要となります。
- 託児サービス(予約制):グランメール(TEL.087-862-3378)までお問い合わせ下さい。[お申込みは8月23日(火)まで]

Program

指揮・平井 秀明

歌劇「劇場支配人」序曲
W.A.モーツァルト 作曲

交響曲第104番ニ長調
『ロンドン』
F.J.ハイドン 作曲

序奏と Rond・カプリッチョーソ
C.C.サン＝サーンス 作曲
(ヴァイオリン 真田大勢)

指揮・山本 祐ノ介

みみくり協奏曲「動物の四季」
山本直純 作曲

(ものまね 江戸家猫八)

かがやくけん、かがわけん。

香川県



平井 秀明

Hideaki Hirai

幼少よりチェロを父平井丈一朗に、ピアノと作曲を祖父平井康三郎に師事。米国ロチェスター大政治学科卒。イーストマン、ピーボディ両音楽院で指揮法を学ぶ。1997年第6回フラデッツ・クラーク国際指揮者コンクール(チェコ)第1位。直ちにチェコ・ヴィルトゥオーゾ室内管弦楽団の首席指揮者に就任。2000年、ヤナーチェク・フィルの定期演奏会に出演して絶賛を博した。これまでに指揮をD. エフロン、F. ブラウスニツ、O. トゥルフリック、サー・コリン・デイヴィスの各氏に師事。日本国内では既に、新日本フィル、日本フィル、東響、東フィルをはじめ、全国ほとんどの主要オーケストラに度々客演する。オペラ指揮者としても「椿姫」、「蝶々夫人」、「ラ・ボエーム」、「カルメン」、自作「かくや姫」、「小町百年の恋」等を指揮、新国立劇場には小劇場公演「イタリアのモーツァルト」公演でデビュー、引き続き「フィガロの結婚」(大劇場)、「セルセ」(小劇場)を指揮、各方面より絶賛された。2010年12月当ホールで香川県主催により上演された自作オペラ「かくや姫」は、キャンペラ(オーストラリア)、ブラハ(チェコ)等、海外でも上演され、いずれも地元メディアで最大級の評価を得る大成功を取めた。2008年「第23回国民文化祭・いばらき2008」より作曲を委嘱されたオペラ「小町百年の恋」を自ら指揮し、その後も再演を重ねる。わが国の若い世代の指揮者、作曲家として、活動が大きな注目を集めている。2010年11月、再びチェコ・ヴィルトゥオーゾ室内管弦楽団より招かれ首席客演指揮者に就任。
 平井秀明公式ウェブサイト: www.hideaki-hirai.com



山本 祐ノ介

Yunosuke Yamamoto

1963年東京生まれ。両親ともに作曲家の家庭に生まれ、早くからピアノ、作曲を学ぶ。また指揮を父山本直純、初山和明、川本統倫の各氏に師事する一方、チェロを斎藤建寛、堀江泰の各氏に師事。東京芸術大学を経て同大学院を修了。ハレーストリングカルテットのチェロ奏者、東京交響楽団首席チェロ奏者などを経て、現在ソロチェリスト及び指揮者として活躍中。1995年からサントリー小ホールに於いて行われた6回にわたるチェロ連続リサイタルでは、パツハの無伴奏組曲全曲、ベートーヴェン及びブラームスのソナタ全曲を含む意欲的なプログラムで大好評を博し、注目を浴びた。指揮者としては、京都市交響楽団、京都フィルハーモニー室内合奏団、東京ニューフィルハーモニック管弦楽団等に度々招かれ好評を得るほか、ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラをはじめ、大田区ハイドンオーケストラ、大分交響楽団などの市民オーケストラを指揮、特にファミリー向けのコンサートでは企画、編曲、指揮、司会をこなし好評を得ている。2002年に行われた「日韓親善チェロコンサート」では、日韓300人のチェリリストによる合奏を指揮、2011年2月にはチェロ・コンGRESS・イン・ジャパン 2011(サントリーホール)に於いて180名のチェロアンサンブルを指揮し、大成功をおさめた。クラシックコンサートはもとより、アニメーションや戯曲などを含む広い分野で作、編曲、指揮及びチェロ演奏を手がけているが、そのすべての活動に於いて、人々の心に安らぎと勇気を与えるため、心あたたまる表情豊かな音楽を追究している。

ものまね



四代目 江戸家猫八 Edoya Nekohachi

1949年 東京生まれ
 1959年 テレビ初出演
 1968年 玉川学園卒業 父・猫八に付いて修業
 1972年 落語協会に加入 寄席に出演
 1981年 放送演芸大賞受賞
 1990年 ベストファーザー賞受賞
 2004年 文化庁芸術祭優秀賞受賞
 2009年 四代目江戸家猫八 襲名

「素人民謡名人戦」「小猫話題にアタック」(フジテレビ)「ゲーム王国」(テレビ東京)
 「おもしろ漢字ミニ辞典」(NHK)などにレギュラー出演
 「笑いが一番」(NHK)「真打競演」(NHKラジオ)映画「かあちゃん」(市川崑監督)などにゲスト出演
 現在、「文化」「健康」「環境」などをテーマに全国で講演活動中

ヴァイオリン



真田 大勢 Taisei Sanada

3歳よりヴァイオリンを福岡至佐子氏に師事。幼稚園在園中にKJO入団。2007年、2008年全四国音楽コンクール第1位。2007年、2008年、2009年、2010年香川ジュニア音楽コンクール金賞、高松テルサ音楽祭2009準グランプリ受賞。2008年第18回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。2009年台湾にて武陵高級中学校の演奏会にKJO団員として参加。2010年第20回日本クラシック音楽コンクール全国大会1、2位該当者なしの5位入賞。2010年、2011年日本イタリア協会コンコルソ・ムジカルテコンクール全国大会2年連続グランプリメオスベチャーレ(特別優秀賞)及び聴衆賞受賞。2010年7月イタリア・ヴィチエンツァ世界遺産テアトロオリンピコにて行われた音楽祭出演。同年9月京都で行われた高台寺音楽祭2010に出演。2011年1月ブルガリアの首都ソフィアにて国立ソフィアフィルハーモニックオーケストラ・ニューイヤーガラコンサートにソリストとして共演。各演奏会ともスタンディングオベーションとなり、聴衆を魅了した。現在、香川大学教育学部附属高松小学校6年。音楽のみならずオリンピックなどで活躍する選手を養成する香川県教育委員会の「スーパー讃岐っ子」にも選出されている。

管弦楽

KJO

かがわジュニア・ニューフィルハーモニック・オーケストラ

香川県では、1996年から5年間にわたり、文化庁などとの共催で「かがわコミュニティ・オーケストラ・プロジェクト事業(KCOP)」を実施してきた。また、高松交響楽団(TSO)の全面的な支援体制のもと、同交響楽団のコンサートマスターで、現高松大学発達科学部子ども発達学科教授の福崎至佐子氏が子どもを対象とした「高松ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ」を主宰し、故山本直純氏を常任指揮者として迎え、1997年から2001年まで毎年定期演奏会を実施してきた。それらの成果を継承・発展させ、ジュニア・オーケストラの演奏技術の一層の向上を図り、次代を担う青少年の豊かな心の醸成と本県の音楽文化の振興に資するため、2001年3月に策定された「香川県文化振興ビジョン」に基づき、2001年度に「かがわジュニア・ニューフィルハーモニック・オーケストラ」として設立された。音楽監督に福崎至佐子氏を迎え、県民ホールを拠点として活動を開始した。その後2008年10月に策定された「香川県文化芸術振興計画」に基づき活動を継続しており、現在、オーケストラ活動を行う「合奏コース」に、楽器別のレッスンをを行う「基礎コース」を併設するなど、本県の音楽界の次代を担う人材の育成に努めている。2007年からは台湾の国立武陵高級中学管弦楽団と国際交流を実施し、また2010年8月には定期演奏会でベートーヴェンの「第九」を演奏するなど、精力的に活動している。